

# 文書館 もん じょ かん ニュース

山口県文書館  
Yamaguchi Prefectural Archives

No.41

## CONTENTS

- 表紙「重要文化財大内版法華経板木」部分 …… 1
- 特集「文書館ウイーク・文書館デイズ  
そしてアーカイブズウイークへ」 …… 2~4
- 市町村公文書の保存を支援します!! III …… 5
- 新収諸家文書を紹介します …… 6
- 「山口県が生んだ8人の宰相展」へ出品 …… 7~8

文書館ウイーク 1998-2000

文書館デイズ 2001-2006

そして

# アーカイブズ ウイークへ

## @rchives Week since2006



第2回文書館ウイーク(平12・1・20〜26)  
重要文化財有光家文書、御両国測量絵図(伊能大図)を展示。伊能忠敬研究会代表渡辺一郎氏の歴史探究講座「伊能忠敬と周防・長門」を開催しました。



第1回文書館ウイーク(平11・1・21〜27)  
記念すべき第一回は、毛利家文庫遠用物―中世―、重要文化財大内版法華経板木、正保周防長門国絵図を展示し、網野善彦氏の特別講演会「日本の中世社会を考え直す」を開催しました。講演会は立見が出るほど盛況でした。



第3回文書館ウイーク(平13・1・18〜24)  
国文学研究資料館史料館安藤正人氏と文書館OB三名による特別シンポジウム「文書館の昨日・今日・明日―世紀を越えて―」を開催。文書館草創期の熱気が伝わると共に、今後の課題も浮き彫りにされるなど示唆に富んだ内容でした。  
(記録は当館『研究紀要』第28号に掲載)

山口県文書館では、文書館の活動を広く知っていただくため、平成十年度から「文書館ウィーク」をスタートさせました。

年に一度、期間を定めて諸行事を集約的に開催するもので、「特別資料展示」、「歴史探究講座」、「古文書なんでも相談」、「初心者のための古文書(文書館)一日講座」、「書庫見学ツアー」など、文書館の活動と特色を紹介する多彩な内容となっています。

企画は、すべて館蔵資料を対象としたもので、中世の古文書から近現代の行政文書まで、幅広い時代を扱っています。

おかげさまで毎回好評を得、数多くの方々にご来館いただき、文書館の存在と活動をPRすることができました。また、企画運営を通して様々な情報が寄せられ、館員自体も館蔵資料の新たな価値が発見できるなど、相乗効果も計り知れません。

開館四〇周年を契機にスタートした文書館ウィークは、平成十二年度を一応の区切りとし、翌年度から「文書館デイズ」として模様替えを行い、さらに平成十八年度からは「アーカイブズウィーク」として、中国四国地区の文書館施設が連携して開催するまでに発展しました。そこで、これまで九年間のウィーク・デイズの中から、いくつか振り返ってみましょう。

\*過去の行事一覧は、本誌四頁に掲載しています

(山田)



**第4回文書館デイズ**(平17・1・21〜23)  
「ポスター・映像に見る懐かしの山口県の昭和」を開催。手作りの味が光る戦後の県広報ポスターと貴重な映像「県政ニュース」を紹介。行政資料と映像にスポットをあてました。



**第5回文書館デイズ**(平17・6・10〜12)  
山口県行政文書の重文指定を記念し、近代遺産をテーマとした「見る・聞く・ふれる国指定重要文化財山口県行政文書」を開催。戦前期の県庁舎・県会議事堂と行政文書が揃って重文指定を受けているのは全国で山口県のみで、その価値と魅力をたっぷりと紹介しました。



**第6回文書館デイズ**(平18・11・10〜12)  
国民文化祭に合わせて、大内氏と雪舟に関連した「御屋形様の文書」を開催。わかりやすい解説と間近に見る中世文書の迫力は大好評でした。



**第1回中国四国地区アーカイブズウィーク**(平18・6・1〜7)  
「公文書館法」の施行を記念し、六月一日〜七日に開催。中国四国地区の文書館が連携して文書館の活動を紹介する様々な行事を展開しています。このウィークが全国規模へ発展することを期待しています。

## 文書館ウイーク・デイズ・アーカイブズウイーク行事一覧

特別資料展示	歴史探究講座等	古文書なんでも相談等
<b>第1回文書館ウイーク(平成11年1月21日～27日)</b>		
毛利家文庫遠用物—中世— (1・22)	文書館の中世文書を読む—原文書の大切さ— 広島女子大学教授 秋山伸隆 (1・22)	初心者のための古文書一日講座 (1・21)
重要文化財大内版法華経板木 (1・23)	特別講演会「日本の中世社会を考え直す」 歴史研究家 網野善彦 (1・23)	古文書なんでも相談 (1・25～27)
正保周防長門国絵図 (1・24)	江戸幕府の国絵図事業と防長の国絵図 東亜大学教授 川村博忠 (1・24)	
<b>第2回文書館ウイーク(平成12年1月20日～26日)</b>		
重要文化財有光家文書 (1・21～22)	中世有光家文書の世界 九州産業大学教授 木村忠夫 (1・21)	初心者のための古文書一日講座 (1・20)
	重要文化財有光家文書の修復 墨申堂 山内啓左 (1・22)	古文書なんでも相談 (1・24～26)
御両国測量絵図(伊能大図) (1・23)	伊能忠敬と周防・長門 伊能忠敬研究会代表 渡辺一郎 (1・23)	
<b>第3回文書館ウイーク(平成13年1月18日～24日)</b>		
明治期の海図 (1・20)	日本の海図—開国と海図作成— 日本国際地図学会 今井健三 (1・20)	初心者のための古文書一日講座 (1・18)
明治期の灯台 (1・21)	日本の灯台—開国と灯台設置— 産業考古学会 堀 勇良 (1・21)	古文書なんでも相談 (1・19, 22, 24)
山口県文書館の40年 (1・23)	特別シンポジウム 「文書館の昨日・今日・明日—世紀を越えて—」 国文学研究資料館史料館教授 安藤正人ほか (1・23)	
<b>第1回文書館デイズ(平成14年1月18日～20日)</b>		
キリスト教解禁前後 —ザビエルからビリオンまで— (1・19～20)	キリスト教解禁以前 —明治6年高札撤去を巡る論争— 国文学研究資料館史料館教授 鈴江英一 (1・20)	古文書なんでも相談 (1・18) 初心者のための古文書一日講座 (1・19)
<b>第2回文書館デイズ(平成15年1月17日～19日)</b>		
毛利家の饗応 —幕府役人を迎えて— (1・18～19)	萩藩の国目付接待 食文化研究家 江後迪子 (1・19)	古文書なんでも相談 (1・17) 初心者のための古文書一日講座 (1・18)
<b>第3回文書館デイズ(平成16年1月23日～25日)「文豪スティーヴンソン・正木退蔵・ヨシダトラジロウ」</b>		
文豪スティーヴンソン・正木退蔵・ ヨシダトラジロウ (1・24～25)	文豪スティーヴンソン・正木退蔵・ヨシダトラジロウ 作家 よしだみどり (1・25)	古文書なんでも相談 (1・23) 初心者のための古文書一日講座 (1・24)
<b>第4回文書館デイズ(平成17年1月21日～23日)「ポスター・映像に見る懐かしの山口県の昭和」</b>		
ポスターに見る戦後のやまぐち —山口国体まで— (1・22～23)	ギャラリートーク「ポスターで戦後を語ろう」 元県広報課 佐々木克己 (1・23)	古文書なんでも相談 (1・21) 懐かしのニュース映画館 (1・22～23) 書庫見学ツアー (1・22～23)
<b>第5回文書館デイズ(平成17年6月10日～12日)「見る・聞く・ふれる 国指定重要文化財山口県行政文書」</b>		
国指定重要文化財山口県行政文書 と旧県庁舎・県会議事堂 (6・10～12)	山口県の近代遺産を考える —国指定重要文化財山口県行政文書と旧県庁舎・県会議事堂— 「山口県行政文書の重要文化財指定について」 山口県文書館専門研究員 山崎一郎 「山口県旧県庁舎・県会議事堂の魅力を語る」 山口近代建築研究会事務局長 原田正彦 (6・12)	書庫見学ツアー (6・10～12) 懐かしのニュース映画館 (6・11～12) ギャラリートーク (6・11～12)
<b>第6回文書館デイズ(平成18年11月10日～12日)「御屋形様の文書—雪舟のパトロン大内氏—」</b>		
御屋形様の文書 —雪舟のパトロン大内氏— (11・11～12)	室町時代の禅僧と国際交流 —雪舟と大内政弘の遣明船— 山口県立大学助教授 伊藤幸司 (11・12)	書庫見学ツアー (11・10～12) ギャラリートーク (11・11～12)
<b>第1回中国四国地区アーカイブズウイーク(平成18年6月1日～7日)</b>		
山口県文書館の史料集刊行事業 (6・1～7)	歴史講座スペシャル 「山内一豊とその妻—大河ドラマ「功名が辻」の世界—」 (財)土佐山内家宝資料館長 渡部 淳 (6・4)	書庫見学ツアー (6・1～7)
備後山内氏と一豊をめぐる人々(6・4)		

# 市町村公文書の保存を支援します!!



## 56市町村時代の公文書保存状況調査を実施しました

### 今年度の取り組み

文書館では市町村公文書の保存を支援するため、平成十六年度から「昭和の大合併」以前の市町村が作成した公文書の保存状況調査と目録作成アドバイスを実施してきました。

調査の結果、明治・大正・昭和の貴重な公文書が大切に保存されていることがわかりました。また、全保存場所の約三分の二で文書目録が整いました。今後とも永く関係文書が保存されることを期待しています。

以上の活動を通して、「昭和の大合併」以前の市町村役場文書の保存支援には一応の目途がつけました。そこで今年度は、平成十五年の周南市誕生以前に存在した五六市町村役場の公文書について、保存状況調査を実施しました。

### 調査の実施

調査の対応は、各市町の本庁・総合支所・総合事務所・支所の文書管理担当者にお願いし、事前に準備した質問項目に沿って回答してもら

いました。質問は、①文書の管理方法、②歴史的文書の保存、③書庫の現状、④現在抱える課題、といった内容です。

さらに文書保存庫を視察し、現状を確認しました。あわせて、公文書保存に関する資料を担当者に手交し、説明しました。その資料の中には平成十六年の市町村文書管理保存担当者研修会で提示した「市町村公文書保存マニュアル」や、(公)文書館の基本的な法律「公文書館法」を盛り込み、地域の歴史を明らかにする公文書を保存するよう依頼しました。

### 調査を終えて

多くの市町村が、公文書の作成から廃棄に至るまでの規程を設け、規程に則って文書の保存・管理をしていました。その規程の中には、自治体史編さん上必要な公文書は永年保存とする、と定めたものもありました。しかし実際は、保存年限が業務上の観点から設定されるため、歴史的公文書と認識して遺されることは少ないようです。

また、作成文書の増加と永年保存文書の増加

に伴って、文書保存庫が収納容量を超え、歴史的公文書を保存するスペースまで確保しきれないという、現場の声も聞かれました。

このように、歴史的公文書を保存するには、厳しい現実が立ちまわっています。しかし私たちに、現在の資料を後世に伝える責任があります。今後は市や町の歴史的公文書保存活動に期待し、文書館もそのバックアップに努めていきたいと考えています。

(吉田)



閲覧を開始しました!

# 新収諸家文書を紹介します



今年度も、たくさんの方の文書を寄贈・寄託いただきました。そのうち、一七の文書、約五四〇〇点の整理を終え、閲覧提供を開始しました。

その概要は、下表のとおりです。古くは南北朝～戦国時代の文書をはじめ、江戸時代の萩藩士の活動に関わる文書、昭和戦前期の満州を写した写真など、バラエティーに富んだものとなっています。

そのいくつかを紹介しましょう。

## ◆永田家文書

江戸時代、萩藩医として活躍し、のちには上関代官も務めた永田家に伝来した文書です。「関録」編さんで有名な史臣永田瀬兵衛(政純)は、この家の出身です。

## ◆中内家文書(岩国市本郷町)

中内家の祖先右馬丞は、永禄年間(一六世紀中期)、安芸国で製紙の方法を会得し、山代(現在の岩国市北部)で紙漉を始めたとされる人物で、のちには楮祖神社(本郷町波野)に祀られました。同家の由緒書や河内神社座配に関する文書などが残されています。

## ◆門井家文書(周防大島町)

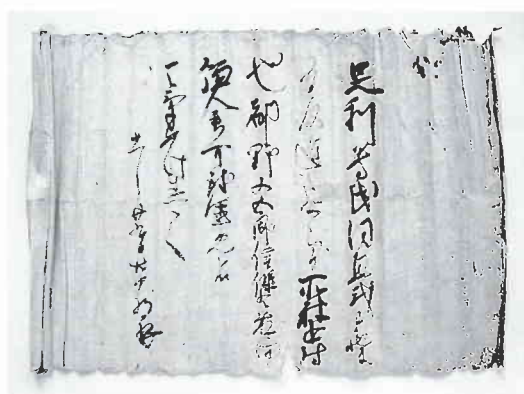
門井家は、大島郡の「長州大工」として活躍した家です。明治～大正期には高知県内で活動したことが確認できます。神社の立面図や建築

明細書など、残存例の少ない大工文書として注目されるものです。

## ◆波多野家文書・都野家文書

波多野家・都野家ともに中世以来の由緒をもち、江戸時代には萩藩士として活躍した家です。波多野家文書には、慶安四年～天和二年(一六五二～八二)の「波多野日記」(御目付役中の日記)があります。都野家文書には、建武二年(二三三五)の後醍醐天皇編旨がうぶな状態を保ったまま残されており、また、戦国期の研究で注目されてきた、天正十五(二五八七)年の石見国人間での人返し協約も含まれています。

(山崎)



後醍醐天皇編旨 建武2年11月29日 (都野家文書1)

文 書 名	点 数	主な文書の年代	文書群の特徴(関連地域・家の特徴・就任役職等)
宇多田家文書(追加分)	95点	江戸～大正	山口市徳地/徳地宰判大庄屋/島地村長
門井家文書	18点	～昭和戦前	周防大島町/長州大工
河崎家文書(追加分)	170点	江戸～昭和戦前	美祢市/吉田宰判大庄屋
口羽家文書(追加分)	582点	江戸～昭和	萩藩士
熊谷家文書	256点	鎌倉～江戸	安芸国人/萩藩士/国指定重要文化財
坂本自治会文書	70点	幕末～昭和	防府市牟礼/地区有文書
佐川家文書(追加分)	2955点	江戸～昭和	平生町佐合島/庄屋・畔頭
白石健二収集史料(追加分)	14点	現代	地域写真
中内家文書	49点	江戸～大正	岩国市本郷町波野/楮神社・河内神社
津田家文書	30点	明治	医院・氏子総代
都野家文書	69点	南北朝～江戸	石見国人/萩藩士
戸島家文書	189点	明治～昭和	下関市川棚/農業経営/川棚村耕地整理組合
永田家文書	58点	江戸	萩藩士・藩医
波多野家文書(追加分)	122点	戦国～江戸	毛利家臣/萩藩士
福尾猛市郎文書	684点	昭和20～30年代	山口大学教授
細田家文書	5点	明治～昭和30年代	昭和戦前期の満州写真等
室井家文書	24点	明治～昭和戦前	明治期教科書/昭和10年代の婦人会活動関係

# 「山口県が生んだ

## 8人の宰相展」へ出品

二〇〇六年(平成十八年)九月、山口県選出の安倍晋三代議士が、第九〇代、五七人目の内閣総理大臣に選出されました。戦後生まれとして初めての総理大臣であり、これは、また本県から八人目となる総理大臣の誕生です。

これを祝し、山口県などが所有する本県出身八人の宰相ゆかりの資料を一堂に集めた展示会が、県政資料館旧県会議事堂を会場に十月六日から二十九日まで開催されました。当初は十五日までの開催予定でしたが、好評につき二週間の会期延長がはかられ、会期中には安倍昭恵総理夫人の鑑賞もありました。

全展示点数六五点のうち、当館からは、田布施町郷土資料館の一六六に次ぐ一三三点を

展しましたので、そのいくつかを紹介してみましよう。

### 伊藤博文

(1:5:7・10代、一八四一—一九〇九)

写真1は、裏書きによると、明治三十三年(一九〇〇)四月十五日、山口の龜山において挙行された銅像除幕式に参列した井上馨ら長州出身の元勳九人の集合記念写真です。前列向かって左端が伊藤、その隣が井上。銅像とは、萩・毛利敬親、長府・毛利元周、徳山・毛利元蕃、清末・毛利元純、岩国・吉川経幹の幕末維新期の五人の旧藩主の像で、その威徳を讃えるため建立されたものです。写真2は、裏書きに「朝鮮統監時代」とあります。

### 山県有朋

(3:9代、一八三八—一九二二)

写真3は、「有朋」のサインがあり、裏書きに、「明治四十二年三月於椿山荘撮影之 同年五月廿五日贈呈 吉富老臺」とあり、明治四十二年(一九一九)、東京目白にあった山県の別邸椿山荘で撮影され、吉富氏に贈呈された写真とわかります。写真4の裏書きには、「明治三十一年六月撮影、云々」とあります。

### 寺内正毅

(18代、一八五二—一九一九)

写真5は、裏書きに「明治三十一年(一九〇八)三月」とあります。

### 田中義一

(26代、一八六四—一九二九)

写真6は、その貼り紙に「新官邸総理大臣室にて」と書かれています。総理大臣席の座り心地を確かめるようなスナップ写真です。写真7は、「第五十六回帝国議会ニ於ケル内閣総理大臣演説」の表題がある謄写版です。昭和四年一月二十二日議会演説の原稿で、約一〇カ所に加筆修正の手が入っています。

田中義一文書(写真4〜7)は、伝記編さん事業で収集された資料で一六〇〇点余りを数え、その長男で山口県知事など数々の要職を務めた田中龍夫氏から寄託されたもので、歴史的にも大変貴重な資料群となっています。書類類も多く、自らの書簡のほかに寺内正毅・山県有朋の書簡もあります。

吉富家文書(写真1〜3)は、明治時代に県議会議長、衆議院議員、そして防長新聞社社長などを歴任した吉富簡一(一八三六—一九一四)の家から寄託された一六〇点の資料で、写真のほかに書簡が多数含まれ、その中には山県有朋や桂太郎の書簡が見られます。

\*写真は次頁です

(吉積)





2



6



1

## 山口県が生んだ 8人の宰相展 出品資料



3



5

第五十六回帝國議會、於ケル内閣總理大臣演説  
 諸君、茲ニ第百六十四帝國議會ノ開會ニ方リテ政府ノ所見ヲ述ブルコトハ、毎ノ歳モ光榮トスル所デアリマス。  
 昨年十一月行ハレマシタ。此ノ代、大東ノ巨匠、禮及文藝者、ノハニ、御座候ノ然ラシムル所デアアルコトハ、申スベキアリマス。私ハ、諸君ト共ニ謹シテ、即位ノ禮當日、煥發セラルレタル、勅語ノ御趣言ヲ遵奉シ、且、精勵以テ、皇室ノ隆昌ニ翼賛セントシテ、細スル迄、努力セテ、アリアス。而シテ此ノ、皇室及國家ノ盛衰ニ際シテ、遺憾ナク、我

7



4



## 山口県文書館

〒753-0083 山口県山口市後河原150-1  
 TEL083-924-2116 FAX083-924-2117 <http://ymonjo.ysn21.jp/>

### 利用時間

【開館時間】 9:00~17:00  
 【閉館日】 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、祝日、月末整理日  
 年末年始(12月28日~1月4日)  
 春秋資料整理期間(4月17日~22日、11月13日~18日)

※文書館は山口県立山口図書館と同じ建物内にあります。  
 閲覧室へは2階へお上がりください。  
 ※毎月の開・閉館日は、当館ホームページの閲覧室カレンダーをご覧ください。

〔表紙〕「大内版法華経板木」守護大名大内氏の氏寺、氷上山興隆寺で開板された妙法蓮華経、序品以下全28品59枚の板木。文明14年(1482)~延徳2年(1490)開板、一部補刻。写真は、第1巻-7冒頭の拡大です。第1回文書館デイズで展示しました。国指定重要文化財。当館蔵。